

クラウドコンピューティング利用技術の開発

Development of cloud computing use technology

鈴木翔一、櫛引正剛*

高齢者人口の増加にともない、高齢者の安全安心な生活を支援することが必要となっている。その手段の1つとして情報通信技術（ICT）を利用したサービス提供が考えられる。このサービスを低コストで提供するためには、システムの維持コストが安いクラウドコンピューティング技術が必要である。

本研究では、高齢者のプライバシーを確保しながら、行動や動作をセンシングする技術を組み合わせることで、高齢者の見守りや生活支援が可能なシステムの要素技術の開発を目的とする。

今年度は、クラウドコンピューティングの種類を文献及びインターネット検索等で調査し、見守りシステムを開発・利用しやすいクラウドコンピューティングについて検討した。見守りシステムの構築には、PaaS(Platform as a Service)型と呼ばれるクラウドコンピュータが適していると考えられ、PaaSの一つであるGAE(Google App Engine)を利用してテストプログラムを作成し、効果を確認した。

